○ イラク前政権の機関、高官又はその関係者等

○ 決議第1483号23(b)の対象となる個人

1. サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ
Saddam Hussein Al-Tikriti
(別名)アブ・アリ Abu Ali
(生年月日及び出生地)1937年4月28日、ティクリート近郊アル・アウジャ
(国籍)イラク
(決議1483上の根拠)決議1483に名前の記載あり。

2. クサイ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ
Qusay Saddam Hussein Al-Tikriti
(生年月日及び出生地)1965年又は1966年、バグダッド
(国籍)イラク
(決議1483上の根拠)サッダーム・フセインの次男、特別共和国防衛隊総監、共和国防衛隊総監、特別治安機関長官

3. ウダイ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ
Uday Saddam Hussein Al-Tikriti
(生年月日及び出生地)1964年又は1967年、バグダッド
(国籍)イラク
(決議1483上の根拠)サッダーム・フセインの長男、「フェダーイーン・サッダーム」部隊指揮官

4. アービド・ハーミド・マフムード・アル・ティクリーティ
Abid Hamid Mahmud Al-Tikriti
(別名)
アービド・ハーミド・ビド・ハーミド・マフムード Abid Hamid Bid Hamid Mahmud
アブデル・ハーミド・マフムード大佐 Col Abdel Hamid Mahmoud
アーベド・マフムード・ハンムード Abed Mahmoud Hammud
(生年月日及び出生地)1957年頃、ティクリート近郊アル・アウジャ
(国籍)イラク
(決議1483上の根拠)サッダーム・フセインの大統領秘書、大統領顧問

5. アリ・ハサン・アル・マジード・アル・ティクリーティ
Ali Hassan Al-Majid Al-Tikriti
(別名)アル・キマーウィ Al-Kimawi
(生年月日及び出生地)1943年、ティクリート近郊アル・アウジャ
(国籍)イラク
(決議1483上の根拠)革命指導評議会評議員、大統領顧問

6. イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリ

Izzat Ibrahim al-Duri
（別名）アブー・ブレイス　Abu Brays
アブー・アフマド　Abu Ahmad
（生年月日及び出生地）1942年、アル・ドゥール
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イラク国軍副最高司令官、バアス党地域指導部副書記長、革命指導評議会副議長

7. ハーニー・アブド・アル・ラティーフ・ティルファーフ・アル・ティクリーティ
Hani Abd-Al-Latif Tilfah Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1962年頃、ティクリート近郊アル・アウジャ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）特別治安機関ナンバー2

8. 削除

9. ムハンマド・ハムザ・ズベイディ
Muhammad Hamza Zubaidi
（生年月日及び出生地）1938年、バービル県バビロン
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）元首相

10. 削除

11. バルザーン・アブド・アル・ガフール・スレイマーン・マジード・アル・ティクリーティ
Barzan Abd al-Ghafur Sulaiman Majid Al-Tikriti
（別名）バルザーン・ラズキ・アブド・アル・ガフール　Barzan Razuki Abd al-Ghafur
（生年月日及び出生地）1960年、サラーハッディーン
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）特別共和国防衛隊司令官

12. ムザーヒム・サアブ・ハサン・アル・ティクリーティ
Muzahim Sa'b Hassan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1946年頃又は1949年又は1960年、サラーハッディーン又はティクリート近郊アル・アウジャ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）防空軍司令官、軍需産業庁次官

13. イブラヒーム・アフマド・アブド・アル・サッタール・ムハンマド・アル・ティクリーティ
Ibrahim Ahmad Abd al-Sattar Muhammed Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1950年、モスル
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）国軍の参謀総長

14. サイフ・アル・ディーン・フレイヒ・ハサン・ターハ・アル・ラーウィ
Saif-al-Din Fulayyih Hassan Taha Al-Rawi
（別名）イヤード・フタイエフ・アル・ラーウィ Ayad Futayyih Al-Rawi
（生年月日及び出生地）1953年、ラマーディ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）共和国防衛隊参謀総長

15. ラーフィ・アブド・アル・ラティーフ・ティルファーフ・アル・ティクリーティ
Rafi Abd-al-Latif Tilfah Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1954年頃、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）公安局長官

16. ターヘル・ジャリール・ハッブーシュ・アル・ティクリーティ
Tahir Jalil Habbush Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1950年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）総合諜報局長官、公安局長官（1997年－1999年）

17. ハーミド・ラジャー・サラーハ・アル・ティクリーティ
Hamid Raja Shalah Al-Tikriti
（別名）ハサン・アル・ティクリーティ Hassan Al-Tikriti
ハーミド・ラジャー・サラーハ・ハッサム・アル・ティクリーティ
Hamid Raja-Shalah Hassum Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1950年、サラーハッディーン県ベイジ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）空軍司令官

18. 削除

19. アブド・アル・タウワーブ・ムラー・フワイシュ
Abd-al-Tawwab Mullah Huwaysh
（生年月日及び出生地）1957年頃又は1942年3月12日、モスル又はバグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）副首相、軍需産業庁長官

20. ターハ・ヤシン・ラマダーン・アル・ジズラーウィ
Taha Yassin Ramadan Al-Jizrawi
（生年月日及び出生地）1938年頃、モスル
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）1991年以来、副大統領

21. ルーカーン・ラズーキー・アブド・アル・ガフール・スレイマーン・アル・ティクリーティ
Rukan Razuki Abd-al-Ghafur Sulaiman Al-Tikriti
（別名）ルーカーン・アブダル・ガッフール・スレイマーン・アル・マージド
Rukan Abdal-Ghaffur Sulayman al-Majid
ルーカーン・ラズーキー・アブド・アル・ガフール・アル・マージド
Rukan Razuqi Abd al-Ghafur Al-Majid
ルーカーン・アブド・アル・ガッフール・アル・マージド・アル・ティクリーティ・アブー・ワーリド
Rukan Abd al-Ghaffur al-Majid Al-Tikriti Abu Walid
（生年月日及び出生地）1956年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）大統領府部族問題事務所長

22. ジャマール・ムスタファ・アブダッラー・スルターン・アル・ティクリーティ
Jamal Mustafa Abdallah Sultan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1955年5月4日、ティクリート近郊アル・サムナ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）大統領府部族問題事務所副所長

23. ミズバーン・ハドル・ハーディ
Mizban Khadr Hadi
（生年月日及び出生地）1938年、ディヤラ県マンダリ地区
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）1991年以来、バアス党地域指導部メンバー及び革命指導評議会評議員

24. ターハ・ムヒー・アル・ディーン・マアルーフ
Taha Muhyi-al-Din Ma'ruf
（生年月日及び出生地）1924年、スレイマーニーヤ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）革命指導評議会副議長

25. ターリク・アジーズ
Tariq Aziz
（別名）ターリク・ミハイル・アジーズ　Tariq Mikhail Aziz
（生年月日及び出生地）1936年7月1日、モスル又はバグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）副首相
（旅券）No34409/129（1997年7月）

26. 削除

27. スルターン・ハーシム・アフマド・アル・ターイ
Sultan Hashim Ahmad Al-Ta'i

（生年月日及び出生地）1944年、モスル
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）国防相

28. ヒクマト・ミズバーン・イブラヒーム・アル・アッザーウィ
Hikmat Mizban Ibrahim al-Azzawi
（生年月日及び出生地）1934年、ディヤーラ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）副首相兼財政相

29. 削除

30. 削除

31. 削除

32. 削除

33. 削除

34. 削除

35. 削除

36. サブアーウィ・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ
Sab'awi Ibrahim Hassan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1947年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）大統領顧問、1990年代初頭公安局長官、総合諜報機関長官（1990年－1991年）、サッダーム・フセインの異母兄弟

37. ワトバーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ
Watban Ibrahim Hassan Al-Tikriti
（別名）ワタブ・イブラヒーム・アル・ハサン　Watab Ibrahim al-Hassan
（生年月日及び出生地）1952年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）大統領顧問、1990年代初頭内相、サッダーム・フセインの異母兄弟

38. バルザン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ
Barzan Ibrahim Hassan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1951年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）大統領顧問、ジュネーブ国連常駐代表（1989年－1998年）、1980年

代初頭総合諜報機関長官、サッダーム・フセインの異母兄弟

39. フダー・サーリフ・マフディ・アンマーシュ
Huda Salih Mahdi Ammash
（生年月日及び出生地）1953年、バグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党地域指導部メンバー、1990年代半ば軍需産業庁生物研究所長

40. 削除

41. 削除

42. 削除

43. 削除

44. ヤヒヤ・アブダッラー・アル・ウベイディ
Yahia Abdallah Al-Ubaidi
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党バスラ県担当地域指導部議長

45. ナーイフ・シンダーフ・サーミル・ガーリブ
Nayif Shindakh Thamir Ghalib
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党ナジャフ県担当地域指導部議長、国会議員
（留意事項）2003年死亡

46. サイフ・アル・ディーン・アル・マシュハダーニ
Saif-al-Din Al-Mashhadani
（生年月日及び出生地）1956年、バグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党アル・ムサンナー県担当地域指導部議長

47. ファーディル・マフムード・ガリーブ
Fadil Mahmud Gharib
（別名）ガリーブ・ムハンマド・ファーゼル・アル・マシャイヒ
Gharib Muhammad Fazel al-Mashaikhi
（生年月日及び出生地）1944年、ドゥジェイル
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党バービル県担当地域指導部議長、イラク労働組合連盟議長

48. ムフシン・ハドル・アル・ハファージ

Muhsin Khadr Al-Khafaji
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党アル・カーディシーヤ県担当地域指導部議長

49. ラシード・タアーン・カージム
Rashid Taan Kathim
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党アル・アンバール県担当地域指導部議長

50. ウグラ・アビド・サクル・アル・ズベイシ
Ugla Abid Sakr Al-Zubaisi
（別名）サクル・アル・カビシ・アブド・アカラ
Saqr al-Kabisi Abd Aqala
（生年月日及び出生地）1944年、アル・アンバール県クベイシ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党ミーサーン県担当地域指導部議長

51. ガージー・ハンムード・アル・ウベイディ
Ghazi Hammud Al-Ubaidi
（生年月日及び出生地）1944年、バグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党ワシート県担当地域指導部議長

52. アーディル・アブダッラー・マフディ
Adil Abdallah Mahdi
（生年月日及び出生地）1945年、アル・ドゥール
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党ジー・カール県担当地域指導部議長、バアス党前ディヤーラ県及びアル・アンバール県担当地域指導部議長

53. 削除

54. ハミース・シルハーン・アル・ムハンマド
Khamis Sirhan Al-Muhammad
（別名）ドクター・フヌ・ムヌ・ハミース　Dr. Fnu Mnu Khamis
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党カルバラ県担当地域指導部議長

55. サアド・アブド・アル・マジード・アル・ファイサル・アル・ティクリーティ
Sa'd Abd-al-Majid Al-Faisal Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1944年、ティクリート
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バアス党サラーハッディーン県担当地域指導部議長、前外務省安全保障

担当次官

56. サージダ・ハイラッラー・ティルファーフ
Sajida Khayrallah Tilfah
（生年月日及び出生地）1937年、ティクリート近郊アル・アウジャ
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サッダーム・フセインの第一夫人であり、いとこである。イラク前政権での要職を占めていたクサイ・サッダーム・フセイン、ウダイ・サッダーム・フセインを含む五人の子を産んだ（現在、サッダーム・フセインには少なくとも6人の子供がいる）。同人はサッダーム・フセインの唯一の公式な妻として認められている（現在、サッダーム・フセインには少なくとも二人の妻がいる）。

57. ラガド・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー
Raghad Saddam Hussein Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1967年、イラク
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘
（住所）アンマン（ヨルダン）

58. ラナ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー
Rana Saddam Hussein Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1969年、イラク
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘
（住所）アンマン（ヨルダン）

59. ハラー・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー
Hala Saddam Hussein Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1972年、イラク
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘

60. サミーラ・シャーフバンダル
Samira Shahbandar
（別名）チャディアン　Chadian
（生年月日及び出生地）1946年、バグダッド
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サッダーム・フセインの第二夫人であり、サッダーム・フセインの三男の母親である。同人のサッダーム・フセインの妻としての地位は、ウダイ・サッダーム・フセインが、サミーラ・シャーフバンダルにサッダーム・フセインを紹介した男性を公共の場で殺害したあと広く知られるようになった。

61. アリー・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー

Ali Saddam Hussein Al-Tikriti
（別名）ハッサン　Hassan
（生年月日及び出生地）1980年または1983年、イラク
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）サミーラ・シャーフバンダルとサッダーム・フセインの息子

62. ムハンマド・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Mohammad Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1972年11月2日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）ジュネーブ（スイス）

63. サジャー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Saja Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（出年月日及び出生地）1978年1月1日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）ジュネーブ（スイス）

64. アリー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ali Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1981年4月18日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）ジュネーブ（スイス）

65. ヌール・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Noor Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1983年11月2日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）ジュネーブ（スイス）

66. ハウラ・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Khawla Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1986年12月3日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）ジュネーブ（スイス）

67. スラヤー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Thoraya Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1980年12月19日または1980年1月19日
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]
（住所）イラク

68. ジャウハル・マジード・アル・ドゥーリー
Jawhar Majid Al-Duri
（生年月日及び出生地）1942年頃、アル・ドゥール
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バアス党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]

69. サンドゥス・アブド・アル・ガフール
Sundus Abd Al-Ghafur
（生年月日及び出生地）1967年頃、キルクーク
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バアス党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]
（住所）イラク

70. ニザール・アル・ラビーイー
Nidal Al-Rabi`i
（生年月日及び出生地）1965年頃、アル・ドゥール
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バアス党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]
（住所）イラク

71. インティッサール・アル・ウバイディー
Intissar Al-Ubaydi
（生年月日及び出生地）1974年頃
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バアス党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]
（住所）イラク

72. 削除

73. 削除

74. 削除

75. アドナーン・S・ハサン・アフマド
Adnan S. Hasan Ahmed
（別名）ハサン・アフマド・S・アドナーン　Hasan Ahmed S. Adnan
アフマド・スルタン　Ahmed Sultan
（住所）アンマン（ヨルダン）
（決議1483上の根拠）団体リストの199番を参照

76. 削除

77. 削除

78. アディーブ・シャーバーン・アル・アーニー
Adib Shaban Al-Ani
（別名）アディーブ・シャーバーン博士　Dr. Adib Sha'ban
アディーブ・シャーバーン　Adib Shaban
（生年月日）1952年
（国籍）イラク
（決議1483上の根拠）イラクオリンピック委員会で働き、ウダイ・サッダーム・フセインの主席補佐官であった。

79. 削除

80. 削除

81. ルーディ・スレワ
Roodi Slewa
（別名）ルーディ・スライワ　Rudi Slaiwah
ルディ・ウンタイワン・スライワ　Rudi Untaywan Slaywah

ルディ・サリワ　Rudi Saliwa

（国籍）イラク

（決議1483上の根拠）イラク消費財会社におけるウダイ・サッダーム・フセインのパートナーとして仕えたことに加え、ルーディ・スレワ はウダイ・サッダーム・フセインによる違法なアルコール及びタバコ配給の独占において主たる役割を果たした。前政権の下で、イラクのタバコとアルコール販売者は、仕事を行うために、スレワに対する不当な支払いの強要を受けた。スレワは、この不正な金儲けの計画による収益から毎月約1．5百万米ドルをウダイ・サッダーム・フセインに対して支払った。

82. 削除

83. ムハンマド・ユーニース・アフマド

Muhammad Yunis Ahmad

（別名）ムハンマド・ユーニース・アル・アフマド　Muhammad Yunis Al-Ahmed

ムハンマド・ユーニース・アフメド　Muhammad Yunis Ahmed

ムハンマド・ユーニース・アフマド・アル・バドラーニー　Muhammad Yunis Ahmad Al-Badrani

ムハンマド・ユーニース・アフメド・アル・モアリー　Muhammad Yunis Ahmed Al-Moali

（生年月日及び出生地）1949年／モースル、アル・モワール（イラク）

（国籍）イラク

（住所）ブルダーン、アル・ダワール・ストリート（シリア）

ダマスカス（シリア）

モースル（イラク）

ワーディー・アル・ハーウィー（イラク）

ドバイ（アラブ首長国連邦）

アル・ハッサケ（シリア）

（決議1483上の根拠）

イラク政府及び米国政府の入手可能な情報によれば、ムハンマド・ユーニース・アフマドは、1990年の湾岸戦争以前、アル・ムサンナー県知事であった。湾岸戦争後、イラク北部においてバアス党幹部に昇進した。同人は、バアス党の地方司令部の一員であり、また、サラーハッ・ディーン県、タミーム県及びスライマーニーヤ県における同党活動に責任を負っていた。同人は、2003年のフセイン政権崩壊まで同地位にあった。

また、アフマド氏は、米国大統領令（US Executive Order）13315の附属書に掲載され本表の6番目に記されており、司令部で同人に次ぐ職を務めていたとされるイッザト・イブラーヒーミ・アッ・ドゥーリーと近い職務上の関係にあると報告されている。イラクの自由作戦後、連合暫定施政当局によるバアス党の廃止の後に、同党は、新しい指導部の下で再編成を行った。イラク政府及び米国政府の入手可能な情報によれば、再編成されたイラク・バアス党は、アッ・ドゥーリー氏を党首とし、またアフマド氏を副党首として再編成されていると伝えられている。最近、同人は、バアス党の事務局長に選出された。イラク政府及び米国政

府の情報によれば、アッ・ドゥーリー氏は、サッダーム政権崩壊後に形成された反連合軍グループの軍事部門を率い、アフマド氏が同グループの政治部門を率いている。

84. ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Yasir Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（別名１）ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Yassir Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Yasser Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Yasir Sab’awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Yasir Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1968年５月15日、アル・アウィージャ（イラク）
（国籍）イラク
（住所）モースル（イラク）
アッザバーダーニー（シリア）
（別名２）アリ・タフィール・アブドラAli Thafir Abdallah
（生年月日及び出生地）1970年、イラク、バグダッド
（旅券）No.284158（イラク）、2005年８月21日まで有効
（決議1483上の根拠）
A：前イラク政権幹部との関係
入手可能な情報によれば「『イラクの自由』作戦」以後、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ティクリーティーは、前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。
B：前イラク政権メンバーに対する支援
情報によれば、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、米軍によるサッダーム・フセインの拘束以前、同人に資金を提供し、ボディーガードも務めた。さらに、「『イラクの自由』作戦」以後、サッダーム・フセインのために政権党員に対し資金を移転するとともに、サッダーム・フセインの妻（サージダ・ハイラーラ・ティルファーフ）に送金した旨申し立てられている。サージダ・ハイラーラ・ティルファーフは、国連安保理決議1518に基づき設立された委員会に指名され、また、米国政府による大統領令（USExecutive Order）13315の附属書に掲載された。
C：新イラク政府・連合軍・イラク国民に対する活動
入手可能な情報によれば、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクにおいて多くの反連合軍活動を指揮し、イラクの北部及び中部にかけて反対勢力と連絡を保っていた。また、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、財政支援、武器及び爆薬を反連合軍部隊に対して提供し

た。
D：前イラク政権幹部との近い親類関係
ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ティクリーティーは、前イラク政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

85. オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Omar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（別名１）ウマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Umar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Omar Sab’awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Omar Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti
（生年月日）およそ1970年
（国籍）イラク
（住所）ダマスカス（シリア）
アッザバーダーニー、アルマハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート（シリア）
イエメン
（別名２）ウマル・アフマド・アリー・アル・アルーシー
Umar Ahmad Ali Al-Alusi
（生年月日及び出生地）1970年、バグダッド（イラク）
（旅券）No.2863795S、2005年8月23日まで有効（イラク）
A：前イラク政権幹部との関係
入手可能な情報によれば、「『イラクの自由』作戦」以後、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。
B：前イラク政権メンバーに対する支援
入手可能な情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、「『イラクの自由』作戦」以後、前イラク・バース党員を支援していた。
C：新イラク政府、連合軍及びイラク国民に対する活動
入手可能な情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、反連合軍活動を指揮し、イラクの北部及び中部にかけて反対勢力と連絡を保っていた。情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクのモースルにおける攻撃を含む反イラク政府活動に対し財政支援及び作戦指示を与えていた。
D：前イラク政権幹部との近い親類関係
オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダー

ム・フセインの元大統領顧問であった。

86. アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ayman Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（別名１）アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Aiman Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ayman Sab’awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ayman Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti
カイス・ムハンマド・サルマン
Qais Muhammad Salman
（生年月日及び出生地）1971年10月21日、バグダッド、アル・アウィージャ（イラク）
（国籍）イラク
（住所）ブルダーン（シリア）
バグダッド、アルマンスール、ムタナービー・エリア（イラク）
（決議1483上の根拠）
A：前イラク政権幹部との関係
入手可能な情報によれば、「『イラクの自由』作戦」以後、アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。
B：新イラク政府、連合軍及びイラク国民に対する活動
アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、フェダイーン・サッダーム（サッダーム・フセインの息子ウダイが率いるイラクの準軍事組織）によるイラク中部で起きた連合軍に対する攻撃へ資金提供した疑いがあった。また、アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクのインフラ、特に石油パイプライン及び給水・電力施設を攻撃するようバース党員に求めたと報告されている。
C：前イラク政権幹部との近い親類関係
アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから、安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

87. イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ibrahim Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（別名１）イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ibrahim Sab’ awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Ibrahim Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti
イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリーティー

Ibrahim Sabawi Ibrahim Al-Hassan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1983年10月25日、バグダッド（イラク）
（国籍）イラク
（住所）アッザバーダーニー、アルマハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート（シリア）
ダマスカス、アッザバーダーニー、フアード・ダウォッド（シリア）
イラク
（別名２）ムハンマド・ダーウード・サルマン
Muhammad Da’ ud Salman
（生年月日及び出生地）1977年、バグダッド（イラク）
（旅券）No.284173、2005年8月21日まで有効（イラク）
（決議1483上の根拠）
前イラク政権幹部との近い親類関係：
イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセイン大統領の顧問であった。

88. バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Bashar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
(original script: التكريتي حسن إبراهيم سبعاوي بشار)
国連参照番号：IQi.085
生年月日：1970/7/17
出生地：バグダッド、イラク
Baghdad, Iraq
別名：バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー; バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリーティー; バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリーティー; バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・バイヤート; アリ・ザフィール・アブドゥッラー; バッシャール・アル・ナースィリー
Bashar Sab’awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti; Bashir Sab’awi Ibrahim Al-Hasan Al-Tikriti; Bashir Sabawi Ibrahim Al-Hassan Al-Tikriti; Bashar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Bayjat; Ali Zafir ‘Abdullah’; BASHAR AL-NASIRI
国籍：イラク
Iraq
住所等：ダマスカス、アッザバーダーニー、フアード・ダーウード農場、シリア; ベイルート、レバノン
Fuad Dawod Farm, Az Zabadani, Damascus, Syrian Arab Republic; Beirut, Lebanon
リスト掲載日：2005 年 7 月 27 日（2025 年 8 月 5 日改訂）

89. サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Sa’ d Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
（別名）サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Sa’ ad Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti
サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー
Sa’ d Sab’ awi Hasan Al-Tikriti
（生年月日及び出生地）1988年9月19日

（国籍）イラク
（住所）アッザバダーニー、アル・マハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート（シリア）
イエメン
（決議1483上の根拠）
前イラク政権幹部との近い親類関係
サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

○ 決議第１４８３号23(a)の対象となる団体

1. 削除

2. 削除

3. 削除

4. 削除

5. 削除

6. 削除

7. 削除

8. 削除

9. 削除

10. 削除

11. 削除

12. 削除

13. 削除

14. 削除

15. 削除

16. 削除

17. 削除

18. 削除

19. 削除

20. 削除

21. 削除

22. 削除

23. 削除

24. 削除

25. 削除

26. 削除

27. 削除

28. 削除

29. 削除

30. 削除

31. 削除

32. 削除

33. 削除

34. 削除

35. 削除

36. 削除

37. 削除

38. 削除

39. 削除

40. 削除

41. 削除

42. 削除

43. 削除

44. 削除

45. 削除

46. 削除

47. 削除

48. 削除

49. イドリブ紡績会社
IDLEB COMPANY FOR SPINNING
（所在地）イラク、イドリブ、私書箱 9 号

50. 削除

51. 削除

52. 削除

53. 削除

54. 削除

55. 削除

56. 削除

57. 削除

58. 削除

59. 削除

60. 削除

61. 削除

62. 削除

63. 削除

64. 削除

65. 削除

66. 削除

67. 削除

68. 削除

69. 削除

70. 削除

71. 削除

72. 削除

73. 削除

74. 削除

75. 削除

76. 削除

77. 削除

78. 削除

79. 削除

80. 削除

81. 削除

82. 削除

83. 削除

84. 削除

85. 削除

86. 削除

87. 削除

88. 削除

89. 削除

90. 削除

91. 削除

92. 削除

93. 削除

94. 削除

95. 削除

96. 削除

97. 削除

98. 削除

99. 削除

100. 削除

101. 削除

102. 削除

103. 削除

104. 削除

105. 削除

106. 削除

107. 削除

108. 削除

109. 削除

110. 削除

111. 削除

112. 削除

113. 削除

114. 削除

115. 削除

116. 削除

117. 削除

118. 削除

119. 削除

120. 削除

121. 削除

122. 削除

123. 削除

124. 削除

125. 削除

126. 削除

127. 削除

128. 削除

129. 削除

130. 削除

131. 削除

132. 削除

133. 削除

134. 削除

135. 削除

136. 削除

137. 削除

138. 削除

139. 削除

140. 削除

141. 削除

142. 削除

143. 削除

144. 削除

145. 削除

146. 削除

147. 削除

148. 削除

149. 削除

150. 削除

151. 削除

152. 削除

153. 削除

154. 削除

155. 削除

156. 削除

157. 削除

158. 削除

159. 削除

160. 削除

161. 削除

162. 削除

163. 削除

164. 削除

165. 削除

166. 削除

167. 削除

168. 削除

169. 削除

170. 削除

171.削除

172. 削除

173. 削除

174. 削除

175. 削除

176. 削除

177. 削除

178. 削除

179. 削除

180. 削除

181. 削除

182. 削除

183. 削除

184. 削除

185. 削除

186. 削除

187. 削除

188. 削除

189. 削除

190. 削除

191. 削除

192. 削除

193. 削除

194. 削除

195. 削除

196. 削除

○ 決議第1483号23(b)の対象となる団体

197. アル・ワセル・バーベル総合貿易 LLC
AL WASEL AND BABEL GENERAL TRADING LLC
（所在地）－アラブ首長国連邦、ドバイ、ラシディーヤ、私書箱 10631 号及び 638 号、アル・ラムール通り、イブラーヒーム・サイード ルータ ビルディング
－アラブ首長国連邦、ドバイ、ラシディーヤ、航空クラブ近く、空港通り、ルータビルディング
－イラク、バグダッド、ハラシーヤ地区のヴィラ
（詳細） アル・ワセル・バーベル総合貿易 LLC(AWB)は前イラク政権が国連石油食糧交換（OFF）計画を通じて購入した物資の 10%のリベートを獲得し、国連により認可されていない物資を調達するために利用されていたアラブ首長国連邦にある会社である。

2001 年1月2日付の前政権イラク副首相兼財務相ヒクマト・ミズバン・イブラヒーム・アル・アッザウィが署名した書簡には、国連石油食糧交換計画の下で他国から購入したすべての物資に対してイラク政府が 10%の手数料支払を得る旨の指示が記述されている。同書簡には、イラク政府職員に対する貿易会社を通じた物資購入の指示があるが、その貿易会社の一つがAWBである。

アル・アッザウィからの別の書類には、イラクとの貿易に従事している会社から 10%の手数料を集
めるための手続きが示されている。同書類にはヨルダンにあるラーフィダイーン銀行がこうした取引における資金の受け皿として使うことができること、また、AWBが物資取引のために使われ

ることとなる旨が明記されている。

米国が保有する情報によれば、AWBはイラクによる高性能地対空ミサイルシステム購入の試みに関わっていたとされる。約 43.5 百万米ドルが UAE 銀行に残されていたが、これは、当該ミサイル購入契約の条件の下で、このシステムの部分的な支払いとして使われるべきものであった。軍事用品を含むこの種の購入は、対イラク国連制裁下で禁止されていた。

フロリダ・タンパのアメリカ入国管理局（BICE）による、当該ミサイル取引に関する調査は、以下のことを明らかにした。

－AWBの商用口座は、UAE国籍の者１名と旅券からイラク政府職員であると判明したイラク人のヒクマト・ジョルジュース・バーナムによって、2000 年 12 月にアブダビ国立銀行（NBAD）に開設された。両名は、AWBへの取引が許可されたとして指名を受けている。イラク国籍保持者であるターリク・ナーセル・S・アル・オバイディーもこの口座の名義人であった。

－NBAD商用口座の初期取引の一つには、2000 年 12 月のヒクマト・マズバーン・イブラヒーム（おそらくはヒクマト・ミズバーン・イブラヒーム・アル・アッザーウィである。）の指示による 7 百万米ドルの入金があった。その直後、7百万米ドルのうち 6.9 百万米ドルが、アル・アッザーウィーの指示により、AWBの２番目の口座へ送金された。

－2001 年初頭から 2002 年初頭にかけてAWBの二つの口座間で多数の追加送金があり、その結果、一方の口座の残高は 43.5 百万米ドルとなった。

－調査中に得られた文書によると、その 43.5 百万米ドルの残高は、レーダーコントロールによる地対空ミサイルシステムをイラクに売却することを目的とする「契約N24398」に直接関連していた。

アブダビ国立銀行のある職員はアメリカ合衆国BICE調査員に対して、43.5 百万米ドルの残高を有するAWBの口座が、イラク人のみを預金にアクセスできる署名者としていたことは異常である旨述べた。その銀行職員は調査員に対し、UAE 市民である同社の社長は当該預金を管理することができず、イラク政府及びその代理人がAWBの実質的な所有者であったと述べた。

以前にイラク中央銀行の総裁を務め、2001 年時点で、AWB事務所職員の一人であったイラク人、ターリク・アル・ウバイディーと、以前イラク中央銀行に雇用されていたイラク人のジョセフ・ギルギースはドバイにおけるウダイ・サッダーム・フセインの代理人として活動していた。

198. 削除

199. アビアトランス・アンスタルト
AVIATRANS ANSTALT
（別名）アビアトランス機構 AVIATRANS ESTABLISHMENT
（所在地）リヒテンシュタイン、ルッゲル

（詳細）ロガルチェオS．Aとアビアトランス・アンスタルトは前イラク政権と前政権高官の財産を管理するために設立された2つの関連会社である。スイスの会社であるロガルチェロは、最終的にはサッダーム・フセインによって所有されるフランスの不動産管理会社の所有者であり管理者であると伝えられている。リヒテンシュタインの会社であるアビアトランスは、イラク通信省がイラク空軍の財源で購入し、イラク政府高官の移動に用いられるジェット機ファルコン 50 の登録された所有者、管理者であったと報じられている。

イラク諜報機関の投資責任者であるハラフ・アル・ドゥレィミーはロガルチェロとアビアトランスを管理していた。ジェット機ファルコン 50 の真正な所有権を更に隠蔽するため、イラクの航空整備士のハサン・アフマド・S・アドナーンがその所有者としてリストに掲載されていた。当該航空機に対するイラク前政権の権益を認識したことから、リヒテンシュタイン当局は最近になって当該ジェット機の登録を抹消し、法定所有者であるアビアトランスに対する精算手続きを開始した。リヒテンシュタイン当局は、「この航空機をイラク再建のために利用できるように」したい旨の意図を表明した。

通商報告とジュネーブ商業登記所によれば、アル・ドゥレイミーはスイスの会社であるミドコ・ファイナンスS.A.の社長、管理者であり、権限ある署名者であったことが示されている。同報告によれば、同人は、モンタネ・マネージメントINCの代表でもある。報道によれば、モンタネはフランスの出版社のハチェッテの 8.4%、フランスのミサイル防衛電子機器製造業者マトラの 2.5%を所有している。（ハチェッテとマトラは後にフランスの会社ラガルデレSCAに統合された。）

200. 削除

201. 削除

202. 削除

203. アル・アラビー貿易会社
AL-ARABI TRADING COMPANY
（所在地）バグダッド、929 地区、通路 11、ハーイ、バビル
バグダッド、オフィス 10、エリア 902、通路 15、ハーイ・アル・ワフダ
バグダッド、アルウィーヤ、私書箱 2337 号
（詳細）アル・アルビー社は前イラク政権の軍事調達に従事していた多数の会社の最終的な親会社である。1991 年には、新聞記事の中で、アル・アラビー社はイラクの核・生物兵器やミサイル計画のための部品と機材調達に従事していたイラク政府の団体であるとされた。

アル・アラビー社は以前、軍事産業委員会の下にあり、1993 年 11 月に清算されたとしてイラク側から主張されていた。当時、アル・アラビー社は産業省や特別プロジェクト技術協力（TECO または Techcorp）と呼ばれる軍事産業傘下により管理されていた。

アル・アラビー社は 12 もの偽装会社の最終的な親会社である。アル・アラビー社は TMG Enginerring Limited を所有する英国の株式会社 Technology and Development Group Limited の99%を所有している。TDG/TMG は 1980 年代後半にイラクの武器調達ネットワークに関与してい

た。

204. アル・バシャーイル貿易有限会社
AL-BASHAIR TRADING COMPANY LTD
（別名）アル・バシャーエル貿易有限会社 AL-BASHAER TRADING COMPANY, LTD
アル・バシール貿易有限会社 AL-BASHIR TRADING COMPANY, LTD
アル・バシャー・イル貿易有限会社 AL-BASHA'IR TRADING COMPANY, LTD
アル・バシャーイル貿易有限会社 AL-BASHAAIR TRADING COMPANY, LTD
アル・ブシャーイル貿易有限会社 AL-BUSHAIR TRADING COMPANY, LTD
（所在地）バグダッド・サアドゥーン通り、アル・アニービルディング１階
（詳細）報道及び米国政府が入手した情報によれば、アル・バシャーイル貿易有限会社はイラクの自由作戦の開始までイラク最大の軍事調達の偽装会社として活動し、前政権にかわって一連の制裁破りや腐敗の枠組みに関与していた。アル・バシャーイル社は、前副首相アブドル・タワブ・ムッラー・フワイシャが率いるイラクの軍事調達計画に責任を持つイラク国営企業である軍事産業機構に直接報告していた。フワイシャは安全保障理事会決議 1483 に基づき作成されたリスト上で前イラク政権の高官として国連により名指しされている。アル・バシャーイル社のバグダッド本部から持ち出された文書に基づく 2003 年 12 月 30 日付ロサンゼルスタイムスの調査報告は、国連査察官を欺き、ミサイル部品、監視装置、戦車の砲身等を前イラク政権に届けるべく計画された虚偽契約、賄賂、虚偽の輸出書類及び資金洗浄を含む数多くの取引について記述している。この会社は、前政権高官による資金洗浄及びイラク政府資金の隠匿を助けたとされている。アル・バシャーイル社の重役であるムニール・アル・クバイシーはイラクの自由作戦以前にイラクを去り、現在シリアに居住している。

205. 貿易運輸サービス有限会社
TRADING AND TRANSPORT SERVICES COMPANY, LTD.
（住所）－ヨルダン、アンマン、ジャバル・アル・フセイン、アル・ラジ・メディカル・コンプレックス
－ヨルダン、アンマン 11121、私書箱 212953 号;
－ヨルダン、アンマン 11191、私書箱 910606 号

貿易運輸サービス有限会社は、ウダイ・サッダーム・フセインの複数の偽装会社と結びついていた。[事案の更なる詳細については、個人リストの 82 番を参照]

206. アルファ国際貿易マーケティング会社
ALFA COMPANY LIMITED FOR INTERNATIONAL TRADING AND MARKETING
（別名）アルファ貿易会社 ALFA TRADING COMPANY
アルファ投資・国際貿易 ALFA INVESTMENT AND INTERNATIONAL TRADING
（住所）ヨルダン、アンマン 11191、私書箱 910606 号

アルファ国際貿易マーケティング会社は、ナビール・ビクトール・カラムによって運営されていた。[個人リストの 82 番を参照]

207. 技術開発グループ有限会社
TECHNOLOGY AND DEVELOPMENT GROUP LIMITED

（別名）TDG 有限会社　TDG Ltd.
登録された会社番号　　02150590
登録された事務所の住所　　53/64 Chancery Lane
ロンドン　WC2A 1QU　英国
最新の既知の管理者　　ハナ・ポール・ジョン　Hana Paul JON
アドナン・タリブ・ハーシム・アル・アミーリー
Adnan Talib Hashim AL-AMIRI
サファ・ハディ・ジャワード・アル・ハボビ博士
Dr. Safa Hadi Jawad AL-HABOBI
最新の既知の株主　　99 通常債権：アル・アラビー貿易有限会社
Al-Arabi Trading Co. Ltd.
1 通常債権：アル・ハボビ博士
Dr. Al-Habobi
（詳細）TDG Ltd.は、1987 年に英国で設立、登録され、イラクで設立されたアル・アラビー貿易会社が所有している。英国の会社登記所（Companies House）の最新の TDG Ltd.に関する Annual Return はアル・アラビー貿易会社が 2002 年 4 月に TDG の 99 パーセントの株式を保有していたことを示している。アル・アラビー貿易会社は、2004 年 4 月 26 日に、国連安保理決議 1518 に基づき設立された委員会により、決議 1483 主文 23(b)に基づく団体に指定された［上記リスト 203 番を参照］。

T.M.G.エンジニアリング有限会社［下記リスト 208 番参照］は、TDG Ltd.がほぼ全てを所有する英国で登録された会社である。したがって、T.M.G.エンジニアリング有限会社はアル・アラビー貿易会社の事実上の子会社と見られる。TDG Ltd.は、子会社である T.M.G.エンジニアリング有限会社を通じて、1980 年代にイラクの軍工業化の調達努力において鍵となる役割を果たしていたことで知られる Matrix Churchill 企業グループのかなりの株式を所有していた。T.M.G. Shareholders Echosabre Ltd.と Adminchck Ltd.は Matrix Churchill グループの一部であった。

208.　T.M.G.エンジニアリング有限会社
T.M.G. ENGINEERING LIMITED
（別名）TMG 有限会社　TMG Ltd.
登録された会社番号　　02142819
登録された事務所の住所　　53/64 Chancery Lane
ロンドン　WC2A 1QU　英国
最新の既知の管理者　　ハナ・ポール・ジョン　Hana Paul JON
アドナン・ターリブ・ハーシム・アル・アミーリー
Adnan Talib Hashim AL-AMIRI
サファ・ハディ・ジャワード・アル・ハボビ博士
Dr. Safa Hadi Jawad AL-HABOBI
株主　　3,700,000　通常債権：TDG Ltd.
100,000　通常債権：Admincheck Ltd.
200,000　通常債権：Echosabre Ltd.
（詳細）T.M.G.エンジニアリング有限会社は、TDG Ltd.がほぼ全てを所有する英国で登録された会社である［上記リスト207番参照］。したがって、T.M.G.エンジニアリング有限会社はアル・アラビ

一貿易会社の事実上の子会社と見られる[上記リスト203番参照]。TDG Ltd.は、子会社であるT.M.G.エンジニアリング有限会社を通じて、1980年代にイラクの軍工業化の調達努力において鍵となる役割を果たしていたことで知られるMatrix Churchill企業グループのかなりの株式を所有していた。T.M.G. Shareholders Echosabre Ltd.とAdminchck Ltd.はMatrix Churchill グループの一部であった。